

4 特別支援教育編

◇ 特別支援学級における実践事例	103
------------------------	-----

領域にかかわる実践事例

大崎市立西大崎小学校

実践名：「乱舞に参加しよう」

領域：自立活動・学校行事（特別支援）

◎ 実施期日（期間） 平成25年5月～

◎ 志教育にかかわるねらい（かかわる）・もとめる・（はたす）

- ・ 友達とともに活動し、力を合わせて目的を成し遂げる喜びを味わう。（かかわる）
- ・ 自分の役割を自覚し、みんなのためにがんばろうという思いを持てるようにする。（はたす）

◎ 具体的な学習・活動の流れ

- 1 和太鼓で運動会の表現に参加することを確認する。
- 2 和太鼓のリズム打ちを練習する。
- 3 全体練習に参加する。
- 4 友達が踊りやすいように打ち方を工夫する。
- 5 運動会、敬老会、政宗公まつりに参加する。
- 6 感想をまとめる。



◎ 指導のポイントや手立ての工夫

- 1 太鼓の音で友達は踊りやすくなり、演技全体に力強さが増すことを知らせ、自分の演技に対する誇りと自信を持たせる。
- 2 友達からの励ましや賞賛を受ける場を設定し、仲間意識を高めるとともに、人のために役立つ喜びを味わわせる。

◎ 実践を振り返って

成果

- 自分にできることで、表現「乱舞」に参加し、成功を取めたことは大きな自信になり、次の活動に対する意欲につながった。

課題

- 来年度は、今年度の内容に技術的あるいは表現的な内容をプラスして西大崎小の一員としての意識をより高めて表現活動に取り組ませたい。

実践名：チャレンジすごろくをしよう

領域：生活単元（特支3年）

◎ **実施期日（期間）** 平成25年6月7日～平成25年6月18日

◎ **志教育にかかわるねらい** (かかわる・もとめる・はたす)

- ・ 今まで学習してできるようになったことを整理し、「すごろく」にしたものを使ってチャレンジさせていく。
- ・ 「すごろく」をすることで、ルールや課題にそって活動し、自分の気持ちをコントロールしながら、見通しをもって活動できるようにする。

◎ **具体的な学習・活動の流れ**

- 1 自分ができるようになったことを短冊に書き出す。
 - ・ できるようになったことや、課題、質問を短冊に書き出す。
- 2 チャレンジカード作りをする。
 - ・ 短冊に書き出したことの中から、カードに書きたいことを選ぶ。
 - ・ チャレンジカードを作る。
- 3 チャレンジカードを使ってチャレンジする。
 - ・ カードに書いてあることにチャレンジしたり、質問に答えたり、課題に取り組んだりする。
- 4 チャレンジすごろく大会をする。
 - ・ チャレンジカードを使い、チャレンジすごろくをする。



◎ **指導のポイントや手立ての工夫**

- ・ ①見通しをもち流れにそって活動すること、②自分の気持ちをコントロールし、ルールを守って活動すること、③相手に自分の気持ちを伝えることの3点を授業のめあてとし、児童がこれまでの学習を振り返り、自分ができるようになったことを確認したり、やってみたいことにチャレンジしたりする活動を取り入れる。体を動かすこと、学校生活の中で学んだこと、学習で学んだことを織り交ぜ児童が無理なくできる内容を共に考えながらカード作りをし、その活動の中で自分のよさに気付かせたり、自信を持たせたりしながら活動の楽しさを実感させていきたい。

◎ **実践を振り返って**

成果 本学級の児童は、様々な活動に対する興味・関心が高く、意欲的に活動する。今回の実践を通して、問題文をよく読み、内容を理解してから行動することができるようになった。また、自分の気持ちをコントロールして、ルールにそって活動することができるようになった。

課題 さいころをふって出た目の数だけ進むが、なかなかチャレンジカードにあたらなかったのですごろくにも工夫が必要であった。また、同じ内容のカードを数枚作って入れておくとチャレンジする回数も増え、より楽しい活動となったと思う。